

# 令和3年度小松島市重要事業実施に伴う政策等の形成過程説明シート

<b>事務事業名</b>	<b>図書館システム管理運営事業</b>			整理番号	— —
				担当課係	図書館
<b>事業予算費目</b>	款	10	教育費	記入者職・氏名	
	項	5	社会教育費	内線等	32-1100
	目	5	生涯学習センター費	事業区分	経常事業
	大事業	8	図書館システム管理運営事業	事業期間	令和 年 ~ 年度
<b>事業の実施主体</b>	市（委託・補助事業含む）				
<b>根拠法令等</b>	図書館法、生涯学習センター小松島市立図書館設置条例、同施行規則				

■事業の概要・全体計画等（政策の発生源、提案に至るまでの理由）

図書館システムを効果的に活用することにより、図書資料の貸出返却・蔵書検索等を効率よく行い、図書館を利用する方の利便性向上を図る。

<b>事業の内容</b>	<p>手段（計画している主な活動の内容、手段、手順）</p> <p>図書資料の貸出返却処理、データ収集・集計処理、各種情報の収集や県内図書館との相互貸借による連携等、図書館システムの幅広い活用を図るもの。</p>
<b>事業の目的</b>	<p>効果（事業実施によってどういう状態・結果に結びつけるか）</p> <p>図書館システムを効果的に活用することにより、利用者に対する利便性の向上や事務の効率化を図り、図書館運営の充実に資することを目的とする。</p>

■総合計画(前期基本計画)との整合性

事業目的が総合計画(前期基本計画)上の施策に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> いる	総合計画(前期基本計画)上の位置付け	基本目標	6. 心豊かなひとづくり
	<input type="checkbox"/> いない		大項目	② ひとりひとりが輝けるまちづくり
			中項目	6-1 教育の充実と文化の振興
			小項目	生涯学習の推進
(理由) 総合計画における生涯学習の推進として、生涯学習センター市立図書館を拠点施設と位置づけ、図書館システムにより利用者が予約する図書や探して欲しい図書等を探したり、データ整理等においても職員の事務の効率化につながるよう取り組んでいる。				

■他の自治体の類似する政策との比較検討

他の図書館と同様に、本市においても図書館システムを効果的に活用することにより、事務の効率化や利用者の利便性の向上が図られている。

■市民参加の実施の有無とその内容 (有・無) ○を入れてください。

事業の対象	対象(誰、何を対象にしているのか)
	市民をはじめ、市内に通勤・通学する者及び近隣市町(徳島市・阿南市・勝浦町)在住の者。
事業の意図	意図(事業の狙いはなにか、対象をどう変えるのか)
	図書館システムを効果的に活用することで、必要な図書を検索したり、貸し出しの予約等を正確迅速に行うことが出来る。また、データ収集等が容易になり、事務の効率化が図られている。
事業に対する関係者から要望等意見はどのようなものが寄せられているか	(市民、議会、事業対象者、意識調査等事業関係者からどのような意見・要望があるか)
	図書館システム導入により、インターネットによる予約が出来るようになり、便利であるとの意見が多い。
事業を取り巻く状況等は、今後どう変化しますか?	(社会状況、根拠法令、規制緩和、周辺の状況等は今後どのように変化していくか)
	図書館システムの活用により事務の効率化や利用者の利便性の向上が図られている。更にコロナ禍による生活環境の変化も踏まえ、図書館システムに求められる役割はさらに増えていくことが想定される。

■事務事業に係るコスト・財源措置・将来に渡るコスト計算、有効性について

		全体計画	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降	最終年度	
全体コスト	財源内訳	国 県 支 出 金	0					
		地 方 債	0					
		その他(利用者負担等)	0					
		一 般 財 源	7,254	1,454	1,450	1,450	1,450	1,450
	A 直接事業費(千円)	7,254	1,454	1,450	1,450	1,450	1,450	
	人件費	正 規 職 員 数	0.50 人	0.10 人	0.10 人	0.10 人	0.10 人	0.10 人
		職 員 人 件 費 ①	4,500	900	900	900	900	900
		会計年度任用・嘱託職員数	24.00 人	4.80 人	4.80 人	4.80 人	4.80 人	4.80 人
		会計年度任用・嘱託職員の賃金等②	28,800	5,760	5,760	5,760	5,760	5,760
	B 人件費計(千円)①+②	33,300	6,660	6,660	6,660	6,660	6,660	
A + B	40,554	8,114	8,110	8,110	8,110	8,110		
有効性について	① この事務事業を行わない場合の影響はありますか?	<input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> a ない	理由	図書館システムによる蔵書検索や貸出返却処理・他の図書館との相互貸借等、必要不可欠なものとなっている。				
	② 類似事業との整理統合はできないか?	<input checked="" type="radio"/> できない <input type="radio"/> a できる		図書館システムの管理運営に関する事業であり、整理統合にはそぐわないと考えている。				
	③ 成果をさらに向上させる余地はありますか?	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> a ある		貸出返却作業、蔵書点検・データ収集や他の図書館との相互貸借等に効果が発揮されていると考えている。				
◎改善・効率化・見直しの方向性 ※上記において a を選択した場合、必ず記入してください。								
有効性	①							
	②							
	③							
所属長による総合的なコメント								
利用者の利便性の向上や職員の事務の効率化等が図られており、今後も継続していく必要がある。								

# 令和3年度小松島市重要事業実施に伴う政策等の形成過程説明シート

事務事業名	図書館運営事業			整理番号	— —
				担当課係	図書館
事業予算費目	款	10	教育費	記入者職・氏名	
	項	5	社会教育費	内線等	32-1100
	目	5	生涯学習センター費	事業区分	経常事業
	大事業	3	図書館運営事業	事業期間	令和 年 ~ 年度
事業の実施主体	市（委託・補助事業含む）				
根拠法令等	図書館法、生涯学習センター小松島市立図書館設置条例、同施行規則				

## ■事業の概要・全体計画等（政策の発生源、提案に至るまでの理由）

平成4年の開館以降、図書館法や設置条例、規則等に基づき、市民及び利用者が各々の目的に応じて求める図書資料等を整備し、その利用に供するとともに、読み聞かせ等の事業を行い、本市の生涯学習の拠点としての機能を果たしていけるよう取り組むもの。

事業の内容	手段（計画している主な活動の内容、手段、手順）
	利用者のニーズに合った図書資料を揃えることにより、読書環境を整備するとともに、図書館施設を安心快適に利用してもらえるように、館内設備の適切な維持管理を行うもの。
事業の目的	効果（事業実施によってどういう状態・結果に結びつけるか）
	読書活動の振興を図り、地域の情報拠点としての役割を果たすことを目的とする。

## ■総合計画(前期基本計画)との整合性

事業目的が総合計画(前期基本計画)上の施策に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> いる	総合計画(前期基本計画)上の位置付け	基本目標	6. 心豊かなひとづくり
	<input type="checkbox"/> いない		大項目	② ひとりひとりが輝けるまちづくり
			中項目	6-1 教育の充実と文化の振興
			小項目	生涯学習の推進

(理由)  
総合計画における生涯学習の推進として、生涯学習センター市立図書館を拠点施設と位置づけ、市民のニーズに沿いながら、図書の充実、資料の収集・整備を行うこととしている。

## ■他の自治体の類似する政策との比較検討

他の自治体と比較して場合、本市の図書購入費は極めて少ない状況であり、利用者からは新刊図書の充実を求める声が多く寄せられている。なお、本市にない図書に関しては、県立図書館をはじめ県内図書館と連携し、相互に貸借を行い利用者の要望に沿えるよう取り組んでいる。

■市民参加の実施の有無とその内容 (有・無) ○を入れてください。

事業の対象	対象(誰、何を対象にしているのか)	市民をはじめ、市内に通勤・通学する者及び近隣市町(徳島市・阿南市・勝浦町)在住の者。
	事業の意図	市民等の利用者のニーズに合わせ、図書購入・資料の収集等による読書環境の充実に取り組み、生涯学習の推進を図るもの。
事業に対する関係者から要望等意見はどのようなものが寄せられているか	(市民、議会、事業対象者、意識調査等事業関係者からどのような意見・要望があるか)	利用者からは、新刊図書の充実を求める声が多い。また、図書館協議会の委員からの意見により、市内の幼稚園や小中学校に対し、希望に沿った図書を選んで届ける「出前サービス」を開始した。
	事業を取り巻く状況等は、今後どう変化しますか?	(社会状況、根拠法令、規制緩和、周辺の状況等は今後どのように変化していくか) コロナ禍が続く中、在宅の時間が増え、利用者においては図書に親しむ時間が増えることが考えられる。また、情報技術の多様化により、電子書籍等の需要が高まることも考えられる。

■事務事業に係るコスト・財源措置・将来に渡るコスト計算、有効性について

		全体計画	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降	最終年度	
全体コスト	財源内訳	国 県 支 出 金	0					
		地 方 債	0					
		その他(利用者負担等)	0					
		一 般 財 源	45,035	9,035	9,000	9,000	9,000	9,000
	A 直接事業費(千円)	45,035	9,035	9,000	9,000	9,000	9,000	
	人件費	正 規 職 員 数	1.00 人	0.20 人	0.20 人	0.20 人	0.20 人	0.20 人
		職 員 人 件 費 ①	9,000	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800
		会計年度任用・嘱託職員数	12.00 人	2.40 人	2.40 人	2.40 人	2.40 人	2.40 人
		会計年度任用・嘱託職員の賃金等②	14,400	2,880	2,880	2,880	2,880	2,880
	B 人件費計(千円)①+②	23,400	4,680	4,680	4,680	4,680	4,680	
A + B	68,435	13,715	13,680	13,680	13,680	13,680		

有効性について	① この事務事業を行わない場合の影響はありますか?	<input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> a ない	理由	生涯学習の拠点施設としての図書館運営に関する事業であり、本市の社会教育全般に多大な影響を及ぼすことになるため、事業実施は必要である。
	② 類似事業との整理統合はできないか?	<input checked="" type="radio"/> できない <input type="radio"/> a できる	理由	図書館運営に関する事業であり、整理統合にはそぐわないと考えている。
	③ 成果をさらに向上させる余地はありますか?	<input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/> a あり	理由	利用者のニーズ把握に努めつつ、先進地事例なども参考に、改善を図っていく必要があると考えている。

◎改善・効率化・見直しの方向性 ※上記において a を選択した場合、必ず記入してください。

有効性	①	
	②	
	③	新刊図書を充実させ、魅力ある図書館づくりが出来れば更に利用者が増加することも考えられる。

所属長による総合的なコメント

図書の充実を多数の利用者から求められており、その要望に沿うよう創意工夫して取り組んでいく。